

大・小まち探検ゲーム 実施報告書

主催：NPO 法人まちなびや
協力：静岡市大谷・小鹿まちづくり推進課

1 事業概要

「大・小まち探検ゲーム」は、大谷・小鹿の魅力を再発見する目的で作成した、スマホと連動する音声クイズラリーである。夏休みに小学生が作成したシゴト人マップの情報を元に開発した。

スタートの大谷小学校からおよそ半径 600m のエリアにある4つのスポットを親子や家族でめぐり、取材音声を聞いてクイズラリーの答えをシートに記入、およそ60分ほどでゴール。

楽しかった、また参加したいという声が多く、来年度へ向けてブラッシュアップをはかりたい。



- ・実施日時 午前曇り午後小雨
令和4年11月20日(日) 10:30~12:00 13:00~14:30 (受付30分前)
- ・参加者
午前4組 小学生3人 未就学児3人 大人5人
午後5組 小学生4人 未就学児3人 大人7人 (キャンセル2組)
- ・サポートスタッフ
NPO 法人まちなびや4人、静岡大学学生3人、おともたび2人

・ゲームの流れ

①まち探検ゲームの準備・説明



②エリア内のスポットで音声を聞く。
写真撮影のミッションも実施。



③ゴール後、体育館へ移動。写真の撮影場所を
マップに貼り、参加賞をもらって終了。



クイズラリーシート



2 成果と課題

アンケートに「私たちの地域について分かりやすかったし、音声を聞いてよくわかりました」「子どももとても楽しんでいたので、ポイントがさらに多くても楽しめると思いました」との記述があり、手ごたえを感じることができた。

写真を撮るミッションで送られた写真は、こども園や三軒屋さん、まちづくり推進課などがあり、参加者それぞれが地域の魅力をどうとらえるか、知る機会となった。

また、当日までのゲーム開発において、音声スポットの作成などに静岡大学の学生がスタッフとして多数参加、当日のまち探検ゲーム参加者のみならず、学生自身が当地区を再発見することにもつながった。

課題としては、音声聞き取りにくかったり、端末によって操作に手間取ることがあったりしたので、来年度へ向けて改善していきたい。

3 今後へ向けて

小学生と大学生によるシゴト人マップの作成からスタートしたまち探検ゲームの開発は、プロセスとして非常に有効だったので、今後も小学生と大学生がうまく関わるプロジェクトを軸とし、開発を進めたい。

今年度はシゴト人の4スポットだったが、今後、地域の方々から様々な情報を集め、テーマを変えてスポット・クイズの数も増やし、まち探検ゲームの内容をより充実させたい。また、小学校との連携も模索していきたい。